令和８年（2026 年）11 月６日

保護者の皆様

札幌市立ノホロの丘小学校
校　長　　大　嶋　稔　康

全国学力・学習状況調査の結果概要等のお知らせ

令和８年４月 24 日（金）に、全国の６年生を対象として実施された「全国学力・学習状況調査」につきまして、その結果の概要と課題、改善の方向についてお知らせします。

以下の資料は、本校の全国学力・学習状況調査の結果についてまとめたものです。なお、今回明らかになった課題や改善の方向は、６年生に限らず学校全体の課題として捉え、今後全学年を通じて改善していくものと考えています。

【小学校　国語】　教科に関する調査の結果概要及び改善の方向性等について

本校の概要 → 今回の調査における課題 → 改善の方向

	領　域	全国平均との比較
知識及び技能	言葉の特徴や使い方に関する事項	**ほぼ同程度であるがやや下回っている**
	情報の扱い方に関する事項	**下回っている**
思考力・判断力・表現力等	話すこと聞くこと	**下回っている**
	書くこと	**上回っている**
	読むこと	**ほぼ同程度**

【言葉の特徴や使い方】
●漢字を文の中で正しく使うこと
【情報の扱い方】
●考えと根拠となる理由や事例など、情報と情報の関係を理解すること
【話すこと・聞くこと】
●相手に伝わるように、理由や事例を挙げながら、話の中心が明確になるように構成を考えること。
●資料を活用するなどして自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。

【言葉の特徴や使い方】
○日常的に既習の漢字を使う指導の充実。
【情報の扱い方】
○情報同士のつながりが一目で分かるように、図や枠組みに当てはめた思考ツールの活用。
【話すこと・聞くこと】
○話の中心と理由・事例が適合する「型」を意識したスピーチの場の設定。
○「矢印」や「囲み」などを活用し少ない文字数で資料と自分の言葉を正しくつなぐ指導の充実。

【小学校　算数】　教科に関する調査の結果概要及び改善の方向性等について

本校の概要 → 今回の調査における課題 → 改善の方向

領　域	全国平均との比較
数と計算	**ほぼ同程度であるがやや下回っている**
図形	**ほぼ同程度である**
測定	**ほぼ同程度である**
変化と関係	**ほぼ同程度である**
データの活用	**下回っている**

【数と計算】
●数を四捨五入して、概数で表すこと。
●基準量、比較量、割合の関係を正しく表すこと。
●数直線上の１を表す目盛りをとらえること。
【データの活用】
●帯グラフの特徴と用い方を理解しおよその割合を読み取ること。

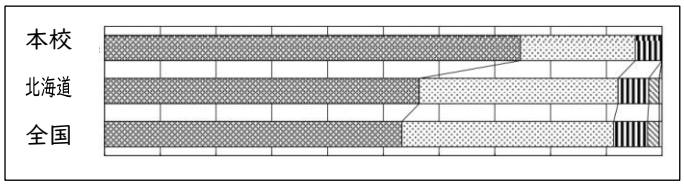
【数と計算】
○概数で表すよさを実感しする場面の設定。
○割合の基本的な性質を理解し、活用できるようにするため、図や式などを用いて基準量と比較量の関係を表す活動の充実。
○「１」をつかむために全体を意識した指導の充実。
【データの活用】
○帯グラフや円グラフを読み取りの場の充実

【質問紙調査】「生活習慣や学習状況に関する調査」への回答から見た本校児童の姿

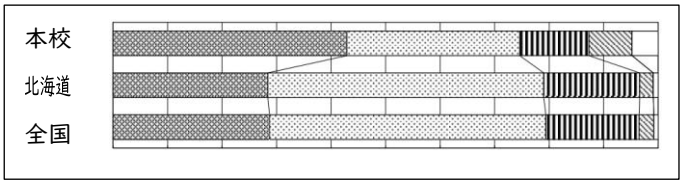
～特徴的な項目を抽出してお知らせします～

【本校児童のよさ】（全国と比べると高い）

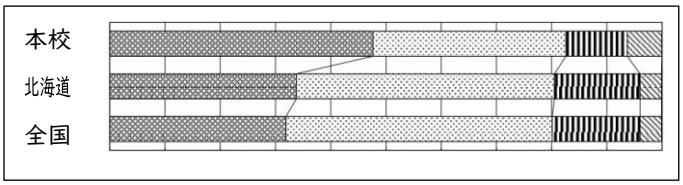
先生はあなたのよいところを認めてくれていると思いますか



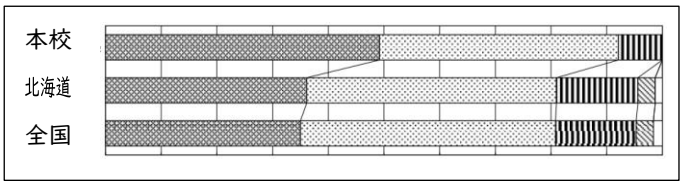
分からないことや知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができていますか。



地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。

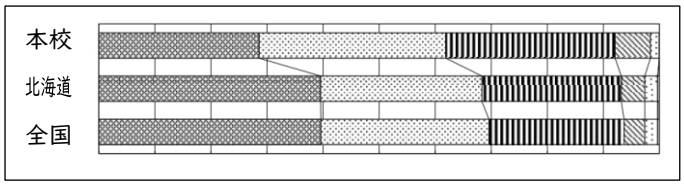


授業で学んだことを、次の学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりすることができていますか。

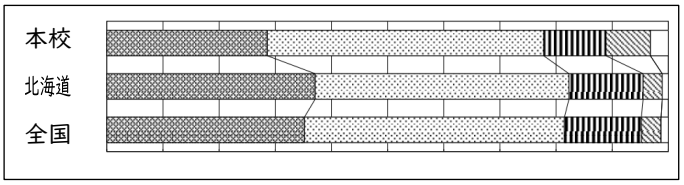


【本校児童の課題】（全国と比べると低い）

あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか。



あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、お互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか



左から：「当てはまる」「どちらかと言えば、当てはまる」「どちらかと言えば、当てはまらない」「当てはまらない」「その他」となっています。

学校や家庭で「自分のよいところを認めてもらえている」と感じている子どもたちが多く、安心して学校生活を送ることができていることに、心より感謝いたします。この安心感や自己肯定感、そして地域のみなさんの温かい見守りが、「地域や社会をよくするために、何かやってみたい！」という前向きな気持ちにつながっていると感じています。

学習面でも、分からないことや知りたいことがあったときに、自分で学び方を考えて工夫するなど、あきらめずに取り組むことができています。授業で学んだことを次の学習や実生活に結び付けて生かそうとする姿は、私たち教職員も日々の関わりのなかで嬉しく感じているところです。

その一方で、「人と違う意見を言うと否定されるかもしれない」という不安から、進んで自分の意見を言えない子も少なくありません。お互いの意見のよさを生かし合って課題を解決していくレベルには、まだ一歩届いていないのが現状です。

今回はグラフこそ掲載していませんが、アンケート全体では肯定的な回答がとてもありました。困っている友達を助けたり、上手くいかないことにも前向きに取り組んだりする素敵な姿が、校内でたくさん見られます。これからも、子どもたち一人一人のよさを大いに認め、伸ばしていけるよう、それぞれの個性を大切にしながら指導にあたってまいります。

【改善の方向】

「進んで」「温かく」「生き生きと」という学校経営の重点目標を大切に、日々の教育活動を展開していきます。また、子ども一人一人が「自分が大切にされている」と実感できる学校づくりを推進するため、「学習活動づくり」「人間関係づくり」「環境づくり」の３つの柱を相互に関連させた取組を進めていきます。

とりわけ、お互いの考えのよさを生かし合う経験を積み重ねることで、自信をもって自らの考えを伝える勇気や、他者を認め合う温かい心を育んでいけるよう、学校全体で取り組んでいきます。